

グリーン電力証書の購入について

～地球温暖化防止に向けた取組み・生保業界最大規模の購入量～

第一生命保険相互会社（社長 斎藤勝利）は、地球温暖化防止に向けた取組みの一環として、CO₂排出量の削減に向けて、自然エネルギーを活用した発電事業を支援する目的から、平成22年3月16日付で日本自然エネルギー株式会社（社長 三野治紀）とグリーン電力¹⁾証書の利用に関する契約を締結しました。

当社では、CSR経営の一環として、環境問題を重要課題として位置付け、平成12年に「第一生命環境基本方針」を制定するとともに、役職員一体となりこれまでも地球環境保護に向けた対応を実施してきました。

今年度は、さらに省エネ・省資源取組みを推進するために全社横断的な『Ecoダイエット運動』を展開し、中長期に亘る継続的な環境取組みを強化しています。

これら取組みの一環として、今回環境負荷の少ないグリーン電力証書300万kwhを購入しました。これはCO₂削減価値に換算すると約1,150トン²⁾となります。今後は、今回購入したグリーン電力証書の活用により、日比谷本社ビルを含む当社事業所で使用する電力の一部をグリーン電力化する予定です。

これまでもグリーン電力証書の購入実績³⁾はありますが、今回の購入量は、年間購入量としては、生保業界で最大規模となります。

当社では、引き続き、環境問題を重要課題として位置付け、お客さまからご支援いただけるよう、なお一層CSR経営を推進してまいります。

（1）グリーン電力

グリーン電力とは、風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの再生可能エネルギーにより発電された電力のことで、「電気そのものの価値」の他に「環境付加価値」を持つ電力と考えられます。この「環境付加価値」を、電力と切り離して「グリーン電力証書」という形で購入し、通常使用する電気と組み合わせることで、再生可能エネルギーにより発電されたグリーン電力を使用しているとみなすことができます。



（2）温暖化ガス（CO₂）排出量

温暖化ガス（CO₂）排出量については、東京都環境確保条例で定められる「地球温暖化対策計画書」で指定された係数により換算しています。東京都環境確保条例では、大規模事業所に対し、平成22年4月より、5年間の平均で温暖化ガス排出量を6～8%削減する義務を設けています。

（3）第一生命のグリーン電力証書購入実績

平成21年度に開催した第19回「緑のデザイン賞表彰式（5月）」、第108回「定時総代会（6月）」、第61回「保健文化賞贈呈式（10月）」等の会場で使用した電力をグリーン電力でまかないました。

<ご参考>

第一生命の地球環境保護に向けた取組み

紙資源削減取組み

平成20年度より紙使用量の削減に向けて、「保険約款のCD-ROM化」「商品・パンフレット等の統廃合・電子化の推進」「コピー用紙削減」等、各種紙使用量削減に向けた取組みを強化しており、さらに取組み余地がないかプロジェクトチームにより、取組みを検討しています。

エネルギー削減取組み

保有する不動産建物に対して、省エネ対策にいち早く着手するなど温暖化ガス排出量の削減活動に積極的に取り組んできました。昨今の取組みの中でも当社の環境に対する不動産建物の取組みは社会から高い評価をいただいています。

ビル名	受賞内容	受賞時期
梅新第一生命ビルディング	「CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2007」受賞	20年 3月
川越第一生命ビルディング	「第12回蓄熱のつどい」表彰	21年 7月
賃貸住宅 OGGI	「第26回住まいのリフォームコンクール(国土交通大臣賞)」受賞	21年11月
仙台第一生命タワービルディング	「平成21年度エネルギー管理優良工場等東北経済産業局長表彰」受賞	22年 2月

また、全職員で取り組む『Ecoダイエット運動』として、室内冷暖房温度の適正化やOA機器節電などに取り組んでいます。

緑の環境デザイン賞

平成2年より実施している「緑の環境デザイン賞」(旧:「緑のデザイン賞」)は、全国の市民団体・公共団体等から募集した都市部の緑化プランに対し緑化実現のための資金助成を行うもので、これまで39都道府県125箇所の都市緑化プランを表彰し、ヒートアイランド化の緩和や生物多様性保全など環境問題改善に効果のある緑化プランづくりを積極的に支援しています。